

補習校だより

2019年10月23日発行

日の暮れる時間が早くなってきました。涼しい風が吹き、ようやく秋本番です。

夏に比べて集中力が上がる秋は、勉強やスポーツ、趣味に励むのに最適な季節です。

子どもと一緒に、この秋の目標を立てたり、興味のあることを見つけて挑戦してみたいはいかがでしょうか。

しっかり食べて、十分に睡眠をとって、いっぱい遊ぶ。この秋を満喫しましょう！



今月(アーバン月)の予定

	イラン暦	西 暦	
第 5 回目授業	1398/8/2 パンジシャンベ	2019/10/24(木)	通常授業
第 6 回目授業	8/9 パンジシャンベ	10/31(木)	通常授業
休 校	8/16 パンジシャンベ	11/7(木)	連休
第 7 回目授業	8/23 パンジシャンベ	11/14(木)	短縮授業 職業体験談
第 8 回目授業	8/30 パンジシャンベ	11/21(木)	交流授業

※始業時間が10時に早まりました。終業時間は今まで通り12時半です。

※交流授業は日本人学校へ現地集合です。

行事報告

チェナールまつりの参加

補習校の始業日翌日の9月27日(金)は、テヘラン日本人学校のチェナールまつりでした。今年もご招待いただき、補習校生とその家族で参加いたしました。

今年も小さなお子さまから大人まで、イランの地で沢山の日本人が一堂に会してレクリエーションを行えたのは大変喜ばしい事です。日本人学校と関係者の皆様に感謝申し上げます。その時の様子を生徒が作文に書きました。ここに紹介いたします。

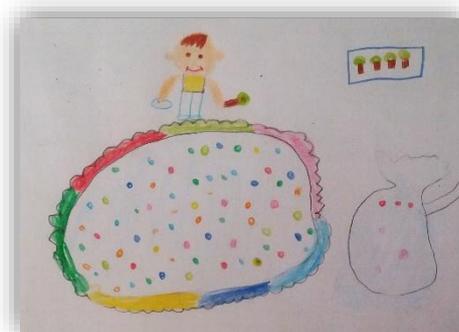
二年 みやちもな

チェナールまつりに行きました。

一ばんたのしかったのはスーパーボールすくいでした。

一かい目は、二こ。二かい目は三つすくえました。

ねらっていたピンクのボールがとれて、うれしかったです。



「チェナール祭」 五年 原英里香

わたしは、チェナール祭をとともまっていた。チェナール祭に行く時わくわくしていました。チェナールまつりでは、まめまめパニック・フリフリダンシング・じゃんけん列車などゲームやバザーがありました。

バザーでは、いろいろな食品が売っていました。わたしは、洋服やかわいいゴムを買いました。もち・からあげ・チューペットがとてもおいしかったです。

じゃんけん列車では、負けてしまいかなしかったです。

とても楽しくおもしろく、いい一日でした。

「今年のチェナール祭」 中学部 鈴木沙奈

今年のチェナール祭は、今まで参加した四回の中で一番記憶に残るものでした。なぜなら、昨年まではビンゴ大会をゲームやバザーの後にやっていましたが、今年は二つの物を食べ比べて質問に答えるテイスティングゲームで一位になったからです。テイスティングゲームは、ビンゴとは違って自分が答えを選べるので、また違う楽しさがありました。

バザーでは色んな文房具を買いました。色んな物が、バザーが始まってすぐに売れていてびっくりしました。

ふりふりダンスや、割り箸射的は簡単でしたが、豆をお箸で違うお皿に移すゲームはとても難しかったです。

今年も思い出に残る、楽しいチェナール祭でした。



理科実験教室

10月10日補習校にて、日本人学校の皿谷美子先生による理科実験教室が行われました。全生徒と保護者を交えて、『もえるかな?』という、物質の燃え方と燃えるための条件を比較した実験を行いました。

みんなで結果を予想し、実験を見た後その結果を考察することで、理科

実験を行う意義を楽しみながら理解できたのではないのでしょうか。ボランティアで補習校の為にすばらしい授業をして下さった皿谷先生に一同感謝いたします。

その時の感想文を紹介します。

「もえるかなの実験」 四年 小林紗也

十月十日、日本人学校から皿谷先生が来ました。皿谷先生は今までいろんなことを教えてくれたので今日の実験を楽しみにしていました。

今日は色々なものに火をつけてもえるかもえないか、またはどのようにもえるかを予想するというものでした。

最初は鉄の粉を大きなスプーンの中に入れて、もえるかもえないかを実験しましたが、もえませんでした。次はでんぷんこでやりましたがもえませんでした。

今度はスプーンではなくて茶こしに入れてふりかけたら両方とももえました。

この実験で、もえるためには空気がひつようなことがわかりました。

ぼくの予想は二つしか当たりませんでした。実験はおもしろかったです。

「びっくり大実験」 四年 青山愛沙

「うそ！？ふっとんじゃった。」

あなを開けた空き缶にアルコールをひとふきし、紙コップをかぶせ火をあなに近づけました。すると、紙コップが天じょうにとどくほど高く上がりました。

わたしは、かんの中ではアルコールがあまり空気とまざらないので音を立てないでおだやかにもえると思いました。しかし、

「ポンッ。」

という音と同時に高くばく発したので、わたしは口から心ぞうが飛び出しそうになりました。

予想がちがってがっかりしました。でも皿谷先生は、

「予想がちがっても考えることが大事。」

と言ってくれました。

皿谷先生は、他にもいろいろな実験をしてくれました。わたしの一番気に入った実験は、この紙コップのばく発実験です。とても勉強になりました。実験というのは、とても楽しいものなんですね。

「理科実験の感想」 中学部 サドリアあとら

十月十日、日本語補習校に日本人学校から皿谷先生が来てくれました。

実験の内容は、「もえるかな？」で、コーンスターチや鉄の粉がどの様な状況で燃えるのかを確かめました。久しぶりの実験だったことと、皿谷先生が実験の前に答えを推測させてくれたので、当たった時はとてもうれしかったです。当たった理由は、前に学校で同様の実験をやった事があったからだと思います。

補習校の皆で実験を楽しみました。またぜひ来てほしいです。

編集後記

先月より、始業時間が30分早くなりました。今まで毎回2時間ずつ行っていた授業が2時間半に変わりました。出かける前の朝の30分は貴重ですが、その分、駆け足で行っていた授業にも余裕ができ、休み時間にカルタ遊びを行っているクラスもありました。楽しみながら日本語に慣れ親しんでゆき、無理なく日本語教育を行える…そんな補習校が理想だと思います。

毎回頑張った30分で、どんな成果が表れるのか、今から楽しみです。



テヘラン日本語補習校 生徒募集

テヘラン日本語補習校は 2009 年に日本人保護者の有志によって創設されました。日本人とイラン人のハーフの学校というイメージがありますが、そんなことはありません。ご両親の都合でイランに滞在し、インターナショナルスクール等に通わせている日本人のお子さん、日本で生まれ育ちイランに帰国してからも日本語を学びたいと考えているイラン人のお子さんなど、日本語でコミュニケーションのとれる子供ならどなたでもお越しいただけます。実年齢に相当する国語力がなくてもご心配ありません。補習校には実年齢より下の学年で一生懸命学ぶ子どもたくさんいます。ご興味のある方は、開校期間中の木曜日に見学受付しております。

★対象年齢 6 歳(一年生)～15 歳(中学三年生)まで

★日時 毎週木曜日 10:00～12:30 2 時間半の授業 間休憩あり
《9 月から翌年 5 月(イランのメヘル月第 1 週から
オルディーベヘシュト月末頃まで 年間 25 回予定+行事)》

★クラス 2019 年度 小学2・4年生クラス ・小学5・6年生クラス
・中学部クラス

★教員 教員 3 名 補助教員 2 名 計 5 名

★料金 入学金 200,000 リヤル
授業料 一回 330,000 リヤル

★場所 Khane Farhang BaSafa(ハネイエ ファルハンギ バーサファー)
Bolwar Ferdous Shargi Entehaye Vafa Azar Shomali
Entehaye Kuche Golzar Samte Rast

★ホームページ www.zenkaiken.jp/teheran/index.html

★お問い合わせ先 <mailto:teheran.nihongo2@gmail.com>

見学希望の方、詳しいお問い合わせは上記までお願いします。